



## 平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月13日

上場取引所 札

上場会社名 株式会社 クワザワ

コード番号 8104 URL <http://www.kuwazawa.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 桑澤 嘉英

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 三田 久郎

TEL 011-864-1112

四半期報告書提出予定日 平成24年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	16,194	3.8	△96	—	△67	—	△97	—
24年3月期第1四半期	15,599	11.2	△146	—	△133	—	△126	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △102百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 △127百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△11.79	—
24年3月期第1四半期	△15.26	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	31,899	8,951	24.9
24年3月期	33,240	9,112	24.4

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 7,957百万円 24年3月期 8,124百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	7.00	7.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	37,000	△2.3	100	△68.8	130	△64.2	80	△88.2	9.69
通期	86,000	0.4	850	4.9	900	3.7	750	△27.9	90.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	8,347,248 株	24年3月期	8,347,248 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

25年3月期1Q	94,544 株	24年3月期	94,114 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	8,252,991 株	24年3月期1Q	8,314,521 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要を背景として、個人消費が緩やかに改善するなど持ち直しの動きが見られました。しかし、欧州金融危機や円高、電力供給不足への懸念などから景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの位置する建設関連業界におきましては、政府の住宅取得促進施策等の効果により新設住宅着工戸数が前年同期を上回るなど回復基調で推移いたしました。

このような環境において、当社グループでは、東日本大震災被災地の地域再生に向け、復旧関連資材などの需要に積極的に対応しました。また、需要拡大の見込まれる太陽光発電や創エネ・省エネ関連商品の取組みを強化いたしました。さらに、顧客獲得と販売シェアの拡大に努め、需要の掘り起こしに向けた営業力の強化と施工体制の拡充により利益確保を図りました。

この結果、当第1四半期の業績は、昨年同期中に株式会社ニッケーと株式会社サツイチを子会社化したことおよび大型物件の完工などから売上高が161億94百万円（前年同期比103.8%）、営業損失は96百万円（前年同期は営業損失1億46百万円）、経常損失は67百万円（前年同期は経常損失1億33百万円）、四半期純損失は97百万円（前年同期は四半期純損失1億26百万円）となりました。

なお、当社グループの第1四半期業績は、建設工事の完工時期が下期中心となるため、利益面において著しく低下する季節特性があります。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### 建設資材

民間の建築需要が底堅く推移したものの、売上高は106億49百万円（前年同期比97.8%）となりましたが、経費等の削減に努めた結果セグメント利益は97百万円（前年同期比114.2%）となりました。

#### 建設工事

大型物件の完工や震災後の需要回復により、売上高は33億63百万円（前年同期比120.0%）となり、セグメント損失は1億8百万円（前年同期はセグメント損失1億33百万円）となりました。

#### 石油製品

販売数量の減少により、売上高は14億70百万円（前年同期比98.2%）となり、セグメント利益は0百万円（前年同期比8.4%）となりました。

#### 資材運送

株式会社サツイチの子会社化もあり、売上高は6億31百万円（前年同期比181.1%）となり、セグメント利益は41百万円（前年同期比128.8%）となりました。

#### その他

子会社化した株式会社ニッケーの不動産賃貸事業が加わったことなどから、売上高は80百万円（前年同期比119.1%）、セグメント利益は33百万円（前年同期比158.5%）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末比13億40百万円減少して318億99百万円(前連結会計年度末比96.0%)となりました。流動資産は同12億62百万円減少して243億44百万円、固定資産は同78百万円減少して75億55百万円となりました。流動資産の減少の主なものは、受取手形及び売掛金の減少によるものであります。固定資産のうち有形固定資産は、同16百万円減少して52億54百万円となりました。無形固定資産は、同19百万円増加して1億92百万円となりました。投資その他の資産は、同81百万円減少して21億8百万円となりました。

(負債の状況)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末比11億79百万円減少して229億48百万円(前連結会計年度末比95.1%)となりました。流動負債は、同9億17百万円減少して199億47百万円、固定負債は同2億62百万円減少して30億円となりました。流動負債の減少の主なものは、支払手形及び買掛金の減少によるものであります。固定負債の減少の主なものは、長期借入金の減少によるものであります。

(純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末比1億61百万円減少して89億51百万円(前連結会計年度末比98.2%)となりました。この減少の主なものは、利益剰余金の減少によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の24.4%から24.9%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、平成24年5月11日に公表の第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」第19項の規定により、「中間財務諸表等における税効果会計に関する実務指針」第12項(法定実効税率を使用する方法)に準じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社および連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,747	2,752
受取手形及び売掛金	18,094	16,557
商品及び製品	508	511
販売用不動産	1,651	1,662
未成工事支出金	1,253	2,417
原材料及び貯蔵品	25	21
その他	387	466
貸倒引当金	△60	△46
流動資産合計	25,606	24,344
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,509	3,509
その他(純額)	1,761	1,745
有形固定資産合計	5,270	5,254
無形固定資産		
	173	192
投資その他の資産		
その他	2,535	2,434
貸倒引当金	△345	△326
投資その他の資産合計	2,190	2,108
固定資産合計	7,634	7,555
資産合計	33,240	31,899
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,726	16,292
短期借入金	630	530
1年内返済予定の長期借入金	819	794
未払法人税等	83	46
賞与引当金	204	78
工事損失引当金	5	15
完成工事補償引当金	43	45
災害損失引当金	7	7
その他	1,344	2,136
流動負債合計	20,864	19,947
固定負債		
長期借入金	1,766	1,580
退職給付引当金	319	306
負ののれん	7	6
資産除去債務	18	18
その他	1,152	1,089
固定負債合計	3,262	3,000
負債合計	24,127	22,948

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	417	417
資本剰余金	318	318
利益剰余金	7,344	7,189
自己株式	△21	△21
株主資本合計	8,059	7,904
その他の包括利益累計額		
其他有価証券評価差額金	64	52
その他の包括利益累計額合計	64	52
少数株主持分	988	993
純資産合計	9,112	8,951
負債純資産合計	33,240	31,899

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	15,599	16,194
売上原価	14,393	14,907
売上総利益	1,206	1,286
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	610	626
その他	741	756
販売費及び一般管理費合計	1,352	1,382
営業損失(△)	△146	△96
営業外収益		
受取利息	7	6
受取配当金	6	6
負ののれん償却額	0	0
持分法による投資利益	1	—
雑収入	39	44
営業外収益合計	55	57
営業外費用		
支払利息	25	19
債権売却損	7	5
持分法による投資損失	—	0
雑損失	9	3
営業外費用合計	42	28
経常損失(△)	△133	△67
特別利益		
固定資産売却益	0	5
特別利益合計	0	5
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	1	0
投資有価証券評価損	—	3
特別損失合計	1	3
税金等調整前四半期純損失(△)	△134	△64
法人税等	△10	25
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△123	△90
少数株主利益	2	7
四半期純損失(△)	△126	△97

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△123	△90
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3	△11
その他の包括利益合計	△3	△11
四半期包括利益	△127	△102
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△130	△108
少数株主に係る四半期包括利益	2	6

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	建設資材	建設工事	石油製品	資材運送	計				
売上高									
外部顧客への売上高	10,883	2,803	1,497	348	15,532	67	15,599	—	15,599
セグメント間の内部 売上高又は振替高	325	48	27	104	505	12	517	△517	—
計	11,209	2,851	1,524	452	16,037	80	16,117	△517	15,599
セグメント利益 又は損失(△)	85	△133	4	32	△11	21	9	△156	△146

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業、損害保険代理店事業および車両整備事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△156百万円には、セグメント間取引消去12百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△168百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	建設資材	建設工事	石油製品	資材運送	計				
売上高									
外部顧客への売上高	10,649	3,363	1,470	631	16,113	80	16,194	—	16,194
セグメント間の内部 売上高又は振替高	231	90	29	106	458	12	471	△471	—
計	10,880	3,454	1,499	737	16,572	93	16,665	△471	16,194
セグメント利益 又は損失(△)	97	△108	0	41	30	33	64	△161	△96

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業、損害保険代理店事業および車両整備事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△161百万円には、セグメント間取引消去17百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△178百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。